

「ASTERIA Warp」がサイバーエージェントのデータ連携に採用！
クラウド DWH「Snowflake」連携で社内のあらゆるデータを迅速に収集・蓄積・分析
ノーコードでデータ連携の開発工数を1/10に削減
全社的なテレワーク対応のための社内ITインフラ最適化も実現！

アステリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、企業データ連携（EAI/ESB）製品の国内市場においてソフトウェア市場で14年間市場シェア No.1^{*1}を継続している「ASTERIA Warp」（アステリア ワープ）がインターネット企業大手の株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役：藤田晋、以下サイバーエージェント）に採用され、利用事例を公開したことを発表します。

サイバーエージェントは ASTERIA Warp の導入により、社内の様々な部署やシステム（サービス）ごとに散在しているデータや、異なるフォーマットで作成していた売上データをノーコードで連携。多様なデータの迅速な収集・統合を行うことで、社内業務システムの連携がスムーズになりました。また、ノーコード開発により、エンジニアの開発工数を1/10に削減するなど、業務効率の向上も実現しました。

■『ASTERIA Warp』の導入背景と今後の取り組み

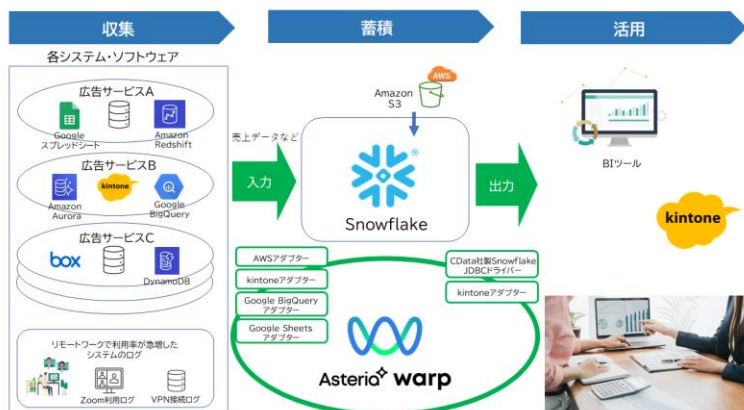
サイバーエージェントが提供するサービスの多くは各サービスに最適なテクノロジーを採用しているため、サービス毎にデータ管理・蓄積のためのソフトウェア・システムが異なります。

従来、新規サービス立ち上げ時にはシステム毎にデータベースの仕様が異なるため、社内の売上管理システムとの連携による開発工数が増大。サービス内のデータ構造の変更時には追加の修正開発が発生するなど、開発・調査・修正までを担うエンジニアの工数が拡大することや、各種データベースとの接続・変換の仕様が複雑なためシステム運用の属人化や障害時の対応が課題となっていました。

そこで、これらの課題を解決するため「ASTERIA Warp」を採用し、社内のあらゆるデータを連携。ASTERIA Warpの各種アダプターを活用してOracle/MySQLなどのデータベース、Google Spreadsheetやboxなどのクラウドサービス、RedshiftやBigQueryなどのデータウェアハウス（DWH^{*2}）に直接接続し、データを取得する方式に変更。ノーコードでのシステム連携を構築することで、売上管理システムをリプレースしました。

この連携により、サービスの追加や修正によるエンジニアの開発工数を1/10に削減。また、コロナ禍の全社的なテレワーク増加のため、VPNやビデオ会議システムの利用が急増し、接続が困難になるなどの課題を抱えていましたが、社内でのシステムの活用時間のログをSnowflakeに収集・蓄積することで利用集中時間を解析し利用を分散するなど、社内ITインフラの最適化も同時に実現しました。

今後は、様々なデータを ASTERIA Warp を活用し Snowflake に集約し活用することで、より一層コストの削減、業務の自動化、効率化や、サービスの品質向上につながるなど、DXを推進していく方針です。



■今後の ASTERIA Warp ビジネスの展開

アステリアの ASTERIA Warp は順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は 9,000 社以上と企業データ連携市場（EAI/ESB）では 14 年連続シェア No.1 を継続。2021 年度 3 月期通期決算では、サブスクリプション型製品「ASTERIA Warp Core」の売上が過去最高を記録するなど、アステリアは業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。

今後も引き続き、ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに社会の要請に応じた機能強化を継続することで、オフィス業務の効率化・自動化を実現します。また、データの連携の活用により、業務プロセスの省力化や残業時間の削減、リモートワーク環境下での新しい生活様式における適用の拡大も推進してまいります。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社（2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,208 社（2021 年 3 月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,607 件（2021 年 3 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

■「ASTERIA Warp」について（Web サイト <https://www.asteria.com/ip/warp/>）

EAI/ESB 製品の国内市場において 14 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。ASTERIA Warp Core は、ASTERIA Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

※1：テクノ・システム・リサーチ社「2020 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」EAI/ESB は、それぞれ Enterprise Application Integration、Enterprise Service Bus の略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。

※2：業務で発生したあらゆる情報を時系列に保存したデータベースのこと。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏、齋藤ひとみ
TEL:03-5718-1297 / E-mail: press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出武也
TEL:03-5718-1250 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。